

教科名	芸術	単位数	3単位	担当者	鶴沼 範考
科目名	美術表現	年次	3年次		
使用教科書 副教材等					
1 学習の到達目標（育成すべき資質・能力）					
<p>a. 美術の創造活動の喜びを味わい、多様でより高度な表現方法を駆使し、主体的に創造活動に取り組める。</p> <p>b. 感性や想像力を働かせて感じ取ったこと、目的や機能、美しさから積極的に主題を求め表現ができる。</p> <p>c. 創造的な美術表現をするために高度な技能を身につけ、意図に応じ、個性を生かした表現方法を工夫できる。</p> <p>d. 美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、よさや美しさを創造的に味わうことができる。</p>					
2 学習の評価（評価規準と評価方法）					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	美術作品などの表現の工夫や美術の役割や美術文化などの理解をいっそう深め、自己の価値観や美意識を総合的に働かせ、美しさを積極的に味わい、発信できる。創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、主題にあった表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な高度な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。		
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 作品の評価 生徒の自己評価 生徒の相互評価	行動の観察 作品の評価 生徒の自己評価 生徒の相互評価	行動の観察 作品の評価 生徒の自己評価 生徒の相互評価		
占 め る 割 合	30%	30%	40%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容							
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c	d		
通年 ～ 12月	生徒個々の課題に即した学習内容、制作課題の設定と計画。 (下記の◆より選択)	○			○	a. d. 総合的な創造活動の喜びを味わい、目標が明確な主体的計画に取り組める。	a. 学習計画の評価
	◆素描 ・木炭デッサン ・鉛筆デッサン ・構成デッサン	○	○	◎	○	c. 創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	a.c. 行動の観察、作品の評価 a.c. 生徒の自己評価
	◆デザインの領域 ・色彩と平面構成 ・表現素材と立体構成	○	○	◎	○	c. 創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	a.c. 行動の観察、作品の評価 a.c. 生徒の自己評価
	◆絵画の領域 ・水彩画 ・油彩画	○	○	◎	○	c. 創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	a.c. 行動の観察、作品の評価 a.c. 生徒の自己評価
	◆彫刻の領域 ・具象彫刻 ・抽象彫刻 ・多様な素材による表現	○	○	◎	○	c. 創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	a.c. 行動の観察、作品の評価 a.c. 生徒の自己評価
	◆映像の領域 ・写真の撮影 ・アニメーション	○	○	◎	○	c. 創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	a.c. 行動の観察、作品の評価 a.c. 生徒の自己評価
	◆工芸の分野 ・陶芸 ・木材工芸 ・金属工芸 ・その他の工芸	○	○	◎	○	c. 創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	a.c. 行動の観察、作品の評価 a.c. 生徒の自己評価
	◆鑑賞 ・作家調べ ・西洋美術史 ・日本美術史 ・デザイン史 ・国際比較美術論 ・テーマ別小論文	○	○	○	◎	d. 美術の役割や美術文化などの理解をいっそう深め、自己の価値観や美意識を総合的に働かせ、美しさを積極的に味わい、発信できる。	a.d. 行動の観察、 d. 発表の評価、レポートの評価
	主体制作 ・一年間で学んだことを総合的に表現する。	○	○	◎	○	c. 創造的な美術表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。	a.c. 生徒の自己評価